



第577回基礎科学セミナー

日時：12月10日(水) 11:00~12:00

場所：先端基礎研究交流棟1階 第1会議室



講演者：渡部 琢也 氏 (東京薬科大学)

演題：動脈硬化は生命を脅かす怖い病気
—発症メカニズムを知れば予防・治療に役立つ—

日本人の上位3死因はこの四半世紀の間変動しておらず、全死因の約6割を占めている。第2位は心疾患(心筋梗塞など)、第3位は脳血管疾患(脳卒中)、いずれも血管病で合わせると第1位の悪性新生物(がん)に匹敵する。がんも大きくなり転移する際には血管新生(毛細血管が新しくできること)を必ず伴うので、血管にまつわる病気で亡くなる日本人はおよそ3人に2人であると言っても過言ではない。

血管病は動脈硬化が主な原因で起こる。ライフスタイルの欧米化に伴い動脈硬化が増え、最近では若者にも多く認められるようになってきた。講演では、生活習慣病である高血圧や高脂血症などの危険因子が重積するメタボリックシンドロームでは動脈硬化が加速的に進行するメカニズムを解説する。メカニズムをきちんと知ることで心血管病に対する治療や予防の最善策がみえてくる。

動脈硬化について分かり易いイラストや実際の臨床検査の画像写真を示しながら解説する予定である。動脈硬化の発症メカニズムをきちんと知ることで致死性心血管疾患の適切な治療や予防法に興味を持って頂き、現役内科医師として健康維持・増進に役立つ講演をしたいと考えている。



<問い合わせ先>
先端基礎研究センター
放射場生体分子科学研究Gr.
横谷 明德 (81-3829)